

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル（科目名）		授業の種類		授業担当者	当該科目に関する実務経験
保育原理Ⅰ		（講義・演習・実習）		柳田 真理子	保育士
授業の回数 15 回	時間数（単位数） 30 時間（2 単位）	配当学年・時期 1 年・前期		必修・選択 必修	
[授業の目的・ねらい]					
・ 「生涯にわたる人間形成の基礎を培う時期」に保育士として子どもにかかわることを常に胸に刻み、保育とは何かを学んでいく。					
[授業全体の内容の概要]					
・ 保育の意義、基本的原理、歴史と現状、課題、様々な保育思想などの基本知識を学ぶ。					
[授業終了時の達成課題（到達目標）]					
・ 保育とは何か、子ども観、保育環境、保育内容と方法、保育の計画など保育の全体像について理解する。また、現状において保育者に求められることは何かなどについて、自分なりに考察できる。					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]					
1 保育について：保育の理念、子どものための保育、保育所・保育士の社会的役割					
2 子どもと保育に関する法令：子ども家庭福祉における保育と法令 子ども・子育て新制度					
3 保育所とは①保育所保育指針とは？・保育所の役割と目的					
4 保育における「育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が求められるのは？					
5 保育に関わるねらい及び内容①乳児保育に関わるねらい及び内容					
6 保育に関わるねらい及び内容②3歳以上児に関するねらい及び内容					
7 保育所と小学校の連携強化 その背景と実際					
8 幼稚園について学ぶ					
9 幼保連携型認定こども園について学ぶ①（目的・目標・内容）					
10 幼保連携型認定こども園について学ぶ②（こども園の教育と保育・子育て支援）					
11 保育所保育の方法（環境を通して行う保育の必要性）					
12 保育の計画と評価①（計画・実践・評価・改善）					
13 部分実習指導案の立て方					
14 部分指導案の作成（保育実習Ⅰを想定して）					
15 期末試験					
[使用テキスト・参考文献]					
・ 保育原理 子ども保育の基本理論の理解（萌文書林）					
・ 保育所保育指針解説書（フレーベル館）					
・ 幼稚園教育要領解説（フレーベル館）					
[成績評価の方法と基準]					
教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。					
・ 考查点(75%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。					
・ 平常点(25%) ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。					